

BeFine!

第43期 第3四半期株主通信

証券コード 6869

2009年4月1日～2009年12月31日



シスメックス アジア・パシフィックの南西に位置するマーライオン公園（シンガポール）

特集

シスメックスのアジア戦略

シスメックス株式会社

好調を維持する海外業績と利益率の改善により 売上、利益で過去最高を更新しました。



代表取締役社長

家次恒

いえずく ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年、代表取締役社長に就任。【趣味】読書、ゴルフ、スポーツ観戦【信条】「意あそばさず」

現地通貨ベースでは 引き続き海外全所在地で増収増益を達成

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は企業理念「Sysmex Way」のもと、多様なステークホルダーの皆様との絆を大切に、社会からのより厚い信頼とさらなる飛躍を目指し、健康で豊かな社会づくりに貢献したいと考えています。

さて、当社グループの2010年3月期 第3四半期の業績は、円高による為替の影響を受けながらも、中国をはじめとする海外が伸長し、売上・利益で過去最高を更新しました。売上高は前年同期比3.1%増、営業利益は同10.3%増、当期純利益は同46.2%増と大幅な伸びを達成しました。これは、機器売上の継続的な増加に伴う試薬売上の拡大などにより、利益率が改善したためです。

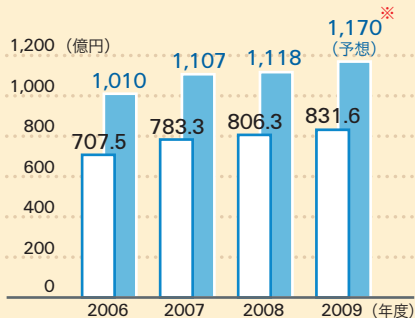
好調な海外は、各国現地通貨ベースでは全所在地で増収増益を達成しました。なかでも中国は、主要分野で二桁成長を続けており、現地通貨ベースで売上高は前年同期比39.1%増、営業利益は同181.4%増の高成長を維持しています。また、昨年4月より直接販売・サービス体制へ移行したベネルクス*も好調を牽引しました。

国内では厳しい市場環境のなか、新型インフルエンザの流行により、引き続き簡易検査用キットの売上が増加しました。一方で、内部売上の減少や円高の影響などにより、日本所在地としては減収減益となりました。

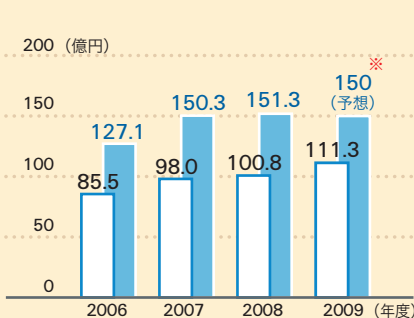
なお、現時点で2010年3月期の連結業績予想に修正はありません。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

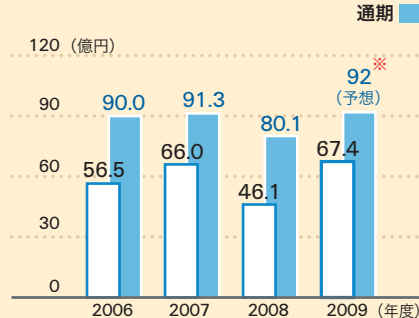
売上高



営業利益



当期純利益



※通期予想は、2009年11月に修正したものです。

※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と異なる可能性があります。

*ベネルクス：オランダ、ベルギー、ルクセンブルクを指します。

〈為替レート〉 前期第3四半期累計為替レート：1USドル=102.8円、1ユーロ=150.7円
 当期第3四半期累計為替レート：1USドル= 93.6円、1ユーロ=133.0円

売上高(第3四半期累計) ■ 営業利益(第3四半期累計) ●

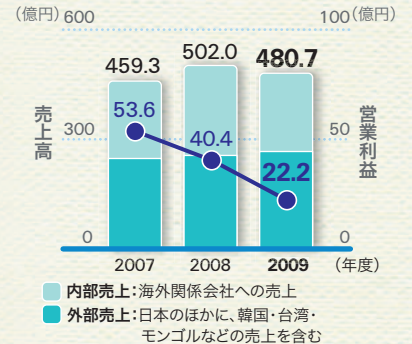
日本

新型インフルエンザの流行などにより 外部売上高が伸長

- 厳しい市場環境のなか、尿検査分野においてシステム製品の売上が増加しました。
- 円高の影響などにより、グループ関係会社への輸出(内部売上)が減少し、減益となりました。



インフルエンザ迅速診断キット
 ボクテム インフルエンザ A/B



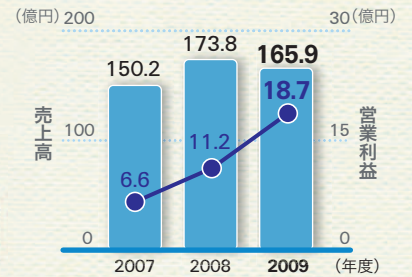
米州

北米における売上伸長により 営業利益が大幅に増加

- 米国ではヘマトロジー分野*の売上が好調に推移しました。
- 中南米を中心に代理店販売が低調に推移しました。



血液分析システム HSTシリーズ



現地通貨ベース 前年同期比 売上高 **104.9%** 営業利益 **182.9%**

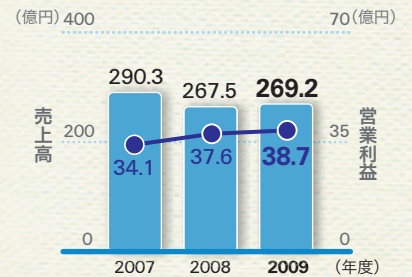
欧州

直接販売の推進と試薬売上の 継続的な増加により増収増益

- フランス、イギリスではヘマトロジー分野を中心に、現地通貨ベースで増収を達成しました。
- 今年度から直販化したベネルクスが好調に推移し、欧州全体の売上に貢献しました。



シスメックス フランス



現地通貨ベース 前年同期比 売上高 **114.0%** 営業利益 **116.5%**

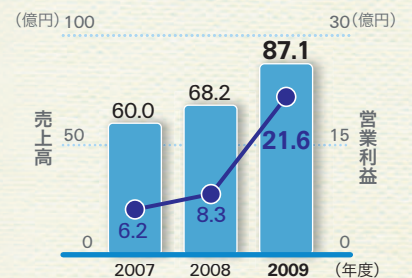
中国

医療需要の拡大に伴い、ヘマトロジー分野、 ノンヘマトロジー分野*とも二桁成長を達成

- 直接提案の推進および代理店施策の強化により、上位機種を中心に売上が増加しました。
- 売上の大幅な拡大に伴い収益性が向上し、営業利益も大幅に増加しました。



シスメックス上海



現地通貨ベース 前年同期比 売上高 **139.1%** 営業利益 **281.4%**

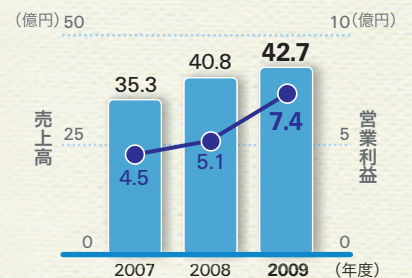
アジア・パシフィック

ヘマトロジー分野が伸長し、 増収増益を達成

- インドネシア、フィリピンではヘマトロジーシステム製品の売上が増加しました。
- タイ、インドでは高性能な小型分析装置XSシリーズの売上が好調に推移しました。



多項目自動血球分析装置 XS-1000i



※韓国・台湾・モンゴルを除きます。

現地通貨ベース 前年同期比 売上高 **117.0%** 営業利益 **163.0%**

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*ノンヘマトロジー分野：血液凝固検査、免疫検査、尿検査、生化学検査などのヘマトロジー分野以外の検体検査分野。

シスメックスのアジア戦略

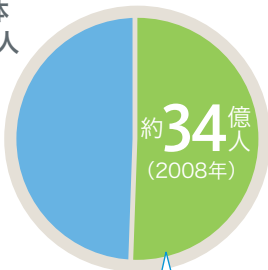
シスメックスは検体検査領域の世界トップ10企業のうち、唯一アジアに立地しています。この立地を強みとして捉え、当社は早い時期からアジア重視の戦略を推進してきました。「アジアフォーカス」を中期経営計画の基本戦略のひとつに掲げ、日本を含むアジアにおける検体検査領域のリーディングカンパニーを目指すシスメックス。その取り組みの歴史と成長戦略をご紹介します。

India

- 販売・サービス&サポート
- 研究開発
- 生産(試薬)

アジア主要国の人口

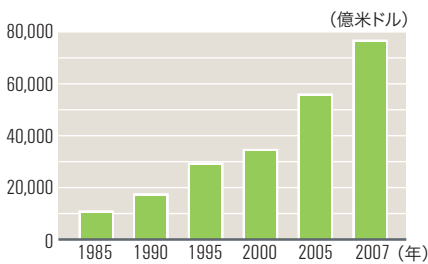
世界全体
約67億人



世界人口の約50%を
占めるアジア

参考:総務省統計局刊行 総務省統計研修所編集「世界の統計2009」

アジア主要国のGDP



急成長を続けるアジア経済

参考:総務省統計局刊行 総務省統計研修所編集「世界の統計2009」

戦略

1

アジアにおける拠点整備

他社に先駆け、いち早く事業基盤を構築

1994年~



シスメックス アジア・パシフィック
(シンガポール)

- シンガポール駐在員事務所(1994年)
- 中国 済南試薬工場(1995年)
- 上海駐在員事務所(1996年)
- シンガポール現地法人(1998年)
[現シスメックス アジア・パシフィック]
- マレーシア現地法人(1998年)
- インド合弁会社(1998年)
- タイ現地法人(1999年)
- 香港現地法人(1999年)

戦略

2

アジア向け製品の品揃え拡充

検体検査領域の総合サプライヤーへ

ヘマトロジー分野

血液凝固分野*

尿分野

生化学分野*



ノンヘマトロジー分野
ヘマトロジー分野

1990

3 *ヘマトロジー分野:血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*血液凝固分野:血液から血球成分を取り除いた血漿を検査し、血友病の診断、出血のしやすさ、血栓症の傾向や、肝機能の状態を調べる検体検査分野。



成長著しい中国でのシスメックスの事業展開

アジアで最も著しい成長を遂げている中国では、政府主導による医療環境の整備が進められ、検体検査市場は年に二桁の高成長を維持しています。シスメックスは早くから中国市場に参入し、1995年にはいち早く試薬生産工場を設立。8カ所に販売拠点を設け、約160社の一次代理店と連携しながら、広大な中国全土をカバーする販売・サービスネットワークを構築しています。2009年12月には、無錫工場内に「中国診断薬開発センター」を開設し、免疫検査分野への参入準備も進めています。



第12回シスメックス学術セミナー。単独企業が開催する学術セミナーとしては最大級（2009年、中国・昆明にて）

アジアの成長力に着目し、いち早く自社の事業基盤の整備を進めてきた結果、現在では業界トップクラスの販売・サービスネットワークを保有しています。ヘマトロジー分野*では市場シェアNo.1を獲得しており、今後もこの地位の強化を推進していきます。

2000年～

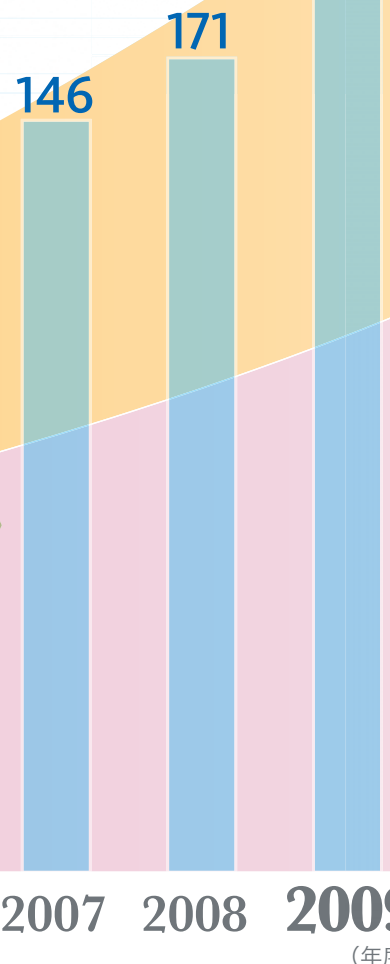


インドの試薬生産工場

- 上海現地法人(2000年)
- 台湾合併会社(2000年)
- インドネシア現地法人(2002年)
- 中国 無錫試薬工場(2003年)
- インド現地法人(2006年)
- 中国 無錫研究開発拠点(2009年) **New**

アジア・パシフィックの売上高

194 億円
(計画)



ヘマトロジー分野に加え、血液凝固・尿分野など、**ノンヘマトロジー**分野での**機器・試薬の品揃えも拡充**しています。さらに、ネットワークサービスや学術活動など、充実したサービス&サポートの提供により、**アジアにおける総合サプライヤーを目指しています。**



2000

2007 2008 2009
(年度)

*生化学分野：血液中の血清や、血漿中の酸素・糖・タンパク質を調べることで、体の栄養状態や肝臓・腎臓の機能、高脂血症や動脈硬化症などの罹患を調べる検体検査分野。

アジアにおける検体検査領域のリーディングカンパニーへ

シスメックス Q&A

難しいと思われがちなシスメックスの事業内容について、皆様の疑問や質問に、わかりやすくお答えします。

シスメックスはなぜ世界中で高く評価されているのですか？

いろいろ知りたい投資家

キュウジ
Q児さん



シスメックスがお届けする **安心**

- ▼ シスメックスはトータルソリューション*で、お客様に確かな安心をお届けしています。
- ▼ 機器や試薬を販売するだけではなく、常に正しい検査結果をお届けすることが、シスメックスの使命です。

お客様に「安心」をお届けできる体制が整っているからです！

シスメックスのことならおまかせ！

エイコ
A子さん



研究開発からサービス&サポートまでの一貫体制で、お客様の安心を支えています。

Q児さん シスメックスの「トータルソリューション」が、医療現場から高い評価を受けていると聞きました。これは、具体的にどのようなことを行っているのですか？

A子さん 私たちのお客様である病院や検査センターは、さまざまな課題を抱えていらっしゃいます。シスメックスは、機器、試薬、ソフトウェア、サービス&サポートの全てを組み合わせることで、お客様の多様なニーズにお応えしているんです。

Q児さん 機器や試薬を売るだけではないのですか？

A子さん 単に良い製品をお届けするだけではお客様に安心していただけません。常に正しい検査結果が出るようにサポートし続ける、その後のサービスが重要なんです。

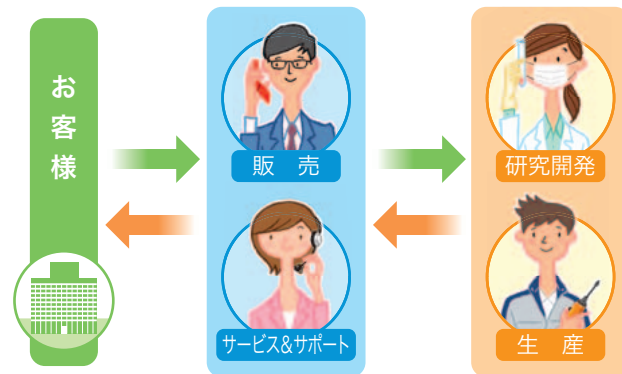
Q児さん なるほど！常に検査の現場を支えているんですね。

A子さん そのとおりです！さらに、製品やサービスを向上させるためには、お客様の声が必要なんです。

シスメックスは、製品の研究開発から生産、販売、サービス&サポートまでの一貫体制を、自社でグローバルに構築しているため、お客様のニーズを素早く、的確に製品やサービスに反映できるのです。

Q児さん お客様の声が研究開発にも活かされているわけですね。

A子さん 検査の質を向上させ、世界中の人々の健康を支える、それがシスメックスの願いです。これからもシスメックスは、世界中の人々の健康を見守っていきたいと思います。



経営

TOPICS トピックス

11月・業績予想の修正に関するお知らせ

2010年3月期通期業績予想 (2009年11月5日発表) (単位: 億円)

	売上高	営業利益	当期純利益
2009年11月発表	1,170 (前回予想比0.9%増)	150 (前回予想比15.4%増)	92 (前回予想比13.6%増)
2009年5月発表	1,160	130	81

※第3四半期以降の業績予想の算定にあたりましては、前発表の想定を替レート「対米ドル95円、対ユーロ125円」を、それぞれ「対米ドル90円、対ユーロ130円」に修正しております。

12月・中国の無錫に 試薬開発拠点を開設

- ドイツPOCT*市場への本格参入に向け、POCT製品販売サービス会社を完全子会社化

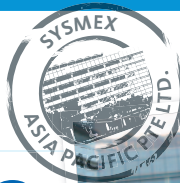
技術・製品

11月・「鳥由来インフルエンザウイルス 核蛋白検出試薬」(研究用)を発売



*トータルソリューション：検査現場（お客様）のさまざまなニーズに、製品やサービスによってお応えすること。

*POCT：Point of Care Testingの略で、患者さんのベッドサイドや開業医、救急現場など、あらゆる場所で迅速かつ簡便に行う検査のこと。



Asia Pacific

(アジア・パシフィック)

シスメックス
アジア・パシフィック
(シンガポール)



Sysmex Asia Pacific Pte Ltd.
President & CEO
フランク ブッシャー
Frank Buescher

海外売上高比率が7割に迫るシスメックスの
海外の活動状況をお伝える当コーナー。
最終回となる今回は、多様な市場ニーズが存在する
アジア・パシフィックエリアから、現地責任者がレポートします。

広範囲にわたるアジア・パシフィック市場で 他社に先駆けて事業基盤を確立

アジア・パシフィックエリアは、オセアニアから東南アジア、南アジアまで、約40カ国におよぶ広範囲をカバーしています。欧米の先進国同様に検査が広く実施されている国もあれば、医療環境が整備されつつあり、今後の市場成長が期待できる国もあるなど、状況はさまざまです。当社はシンガポールとインドに試薬生産拠点を設け、市場での急激な需要増加に対応しています。現在、7カ国に現地法人を保有し、販売・サービス体制を充実させることで、ヘマトロジー分野*のみならず、ノンヘマトロジー分野*への拡大も推進しています。



インドネシアでは当社製品が 母子の健康状態の改善に貢献!

インドネシアでは、医師・助産婦の不足や、不衛生な環境での出産のため、多くの妊婦や乳幼児が命を落としています。ジャワ島西部にあるセランの診療所では、安定した電力の供給がなく血液検査機器を設置することができずにいました。そこで当社は、世界でも稀なソーラー発電による電力で、血球計数装置pocH-100iを正確に作動させることに成功。現在では、毎月20名ほどの母子の血液検査に使用され、貧血状態の把握や感染症の早期発見によって、多くの命が救われています。



pocH-100i



診療所に設置された
ソーラーパネル

会社概要

(2009年12月31日現在)

- | | | | |
|--------|--|----------|--|
| ●商号 | シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
(1998年10月1日東亜医用電子株式会社から
商号変更) | ●格付け | A (R&I:格付投資情報センター) |
| ●設立年月日 | 1968年2月20日 | ●従業員数 | 3,837名(連結) 1,622名(単独) |
| ●資本金 | 87億5,101万円 | ●主な事業の内容 | 臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器
ならびに関連ソフトウェアなどの
開発・製造・販売・輸出入 |

株主メモ

- | | | | |
|------------------------------|--|-----------------------------|------------------------------|
| ●事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで | ●上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第1部
大阪証券取引所市場第1部 |
| ●定時株主総会 | 6月 | ●証券コード | 6869 |
| ●基準日 | | ●単元株式数 | 100株 |
| 定時株主総会 | 3月31日 | ●株式事務 | |
| 期末配当金 | 3月31日 | 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 | |
| 中間配当金 | 9月30日 | 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 | |
| ●公告方法 | その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 | |
| 当社の公告方法は、電子公告とします。 | | ●同連絡先(郵便物送付先・電話照会先) | |
| ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による | | 〒541-0044 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 | |
| 公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して | | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 | |
| 行います。 | | 電話 0120-094-777(通話料無料) | |
| 電子公告掲載ホームページアドレス | www.sysmex.co.jp/ir/ | | |

*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

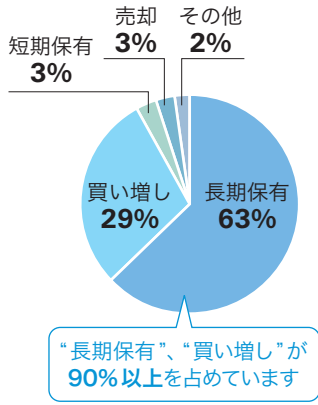
*ノンヘマトロジー分野: 血液凝固検査、免疫検査、尿検査、生化学検査などのヘマトロジー分野以外の検体検査分野。



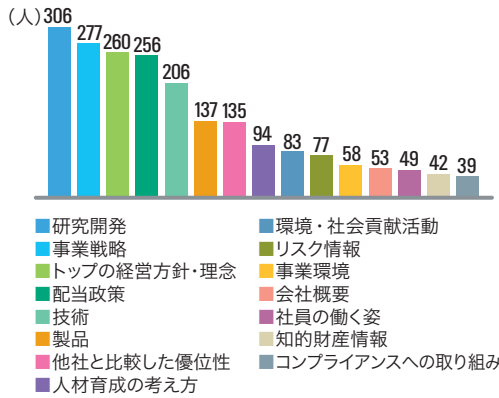
株主様アンケートのご報告

前号の株主通信にてお寄せいただいたアンケート結果についてお伝えします。アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。これまでに頂戴したご意見やご要望をもとに、今年度発行の株主通信では、特集や新規企画コーナー『シスメックスQ&A』、『海外現地Report』などを通じ、研究開発や事業内容・戦略についての情報充実を図ってまいりました。

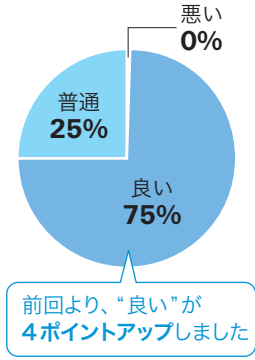
●当社株式についての今後の方針



●今後当社のどのような内容についてお知りになりたいですか？



●情報の充実度



自由ご記入欄

『シスメックスQ&A』コーナーは親しみやすいイラストでわかりやすかった。(女性・60歳代)

がんの早期発見、治療への研究開発の益々の進展を願います。(女性・40歳代)

文字は新聞くらいの大きさなので、格段に読みやすくなった。(男性・60歳代)

株主通信を年に4回発行している会社はまだ少ないです。この充実したIRを今後もぜひご継続ください。(男性・50歳代)

個人投資家向け会社説明会の実施を希望します。(男性・70歳代)

PR(知名度向上)活動を積極的にお願いします。(男性・40歳代)

ご要望や激励、お褒めの言葉を多数いただき、スタッフ一同にとって大きな励みとなりました。皆様から頂戴したさまざまなご意見を、今後の事業活動に活かしてまいりたいと思います。

IRカレンダー

2010.2—2010.6

2010年

2月2日

●2010年3月期 第3四半期決算発表

2月下旬

●本誌 第43期 第3四半期 株主通信『Be Fine!』発送

3月15日～3月31日

●単元未満株式買い増し手続き停止期間

※証券保管振替機構をご利用の場合、証券会社によって期間が異なる場合がございますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

3月26日

●シスメックス株式会社権利付株式最終売買日

※3月27日～3月31日に当社株をご購入されても、2010年3月末における配当、議決権行使、株主総会参加の権利は得られません。

3月31日

●2010年3月期末

5月初旬

●2010年3月期 決算発表

6月

●定時株主総会